

杉並区立松溪中学校 令和5年度学校運営協議会 第5回議事録

- 1 開催日時 令和5年10月21日(月)13:30~14:40
- 2 開催場所 杉並区立松溪中学校 多目的室
- 3 出席委員 檜枝光太郎、恵羅 博、石井良典、渡邊 麗、目黒由美、飯島 裕子、武井広子、
村木由紀、佐藤伸彦、小松進一校長
- 4 出席(学校) 小川隆一副校長
傍聴者 1名(高橋早苗:学校支援本部長)

6 会議内容(次第)

【1】会長より

- ・個人的に学校支援本部の初任者研修に参加し、学校・地域コーディネーターの役割を学びました。おかげで学校支援本部の仕事と学校のことがよく知れ、いろいろなことができることがわかりました。CSは、学校現場を支えている学校支援本部ともしっかり連携を深めていく必要があると思いました。
- ・本日の道徳授業教育地区公開講座を参観し、子ども達が人生をいかに良く生きるかを学ぶために必要な時間だと思いました。ただ、参観した保護者が少なかったため、もっと参観を働きかける必要性を感じました。

【2】学校長より

- ・休職した理科の先生に代わる教員が、まだ見つかっていません。現在は、特別に区の済美教育センターと他校に所属している理科の先生に授業を担当していただいています。引き続き講師の先生を探していきます。
- ・先日、保存してあるべき生徒の指導要録が誤って廃棄されていたことがわかりました。調べてみると、令和3年度に指導要録を保管していた金庫を整理した際、誤って廃棄してしまったことがわかりました。誤廃棄してしまった指導要録の生徒と保護者に連絡し、現在在籍している生徒や保護者にもお知らせしました。現在、できる限りのところまで復元しました。新聞等でも報道され、学校名も掲載されました。あってはならないことと考えており、指導要録を保管しておく際の表示の仕方や廃棄する際の確認方法、点検の仕方について改善を図りました。
- ・区の学校では、避難訓練を月に1回程度実施しています。松溪中では、これまで地震や火災を想定した訓練を多く行ってきましたが、前はJアラートが発令された場合を想定した訓練を実施しました。窓ガラスの側を避けることや、校庭にいた場合は建物内に避難する訓練を実施しました。
- ・先日、現在の1年生の修学旅行を実施する際の業者選定を行いました。行き先は、これまで実施している京都や奈良が外国人観光客等で混みあい、時間がかかっている等の理由や保護者の意見もあり、九州に変更しました。令和7年度から飛行機で九州に行く計画になります。

【3】協議事項

(1) 赤ちゃんふれあい体験について

- ・昨年度も体験のお手伝いに参加しました。対象となった今年度の2年生は、授業でふざけてしまう等の幼い面があると聞いていましたが、赤ちゃんに接する姿勢が良く、赤ちゃんのお母さんへの質問も良く考えてきていました。もっと子ども達に任せる場面があってもできたと思いました。限られた時間での実施でしたが、授業で話を聞くだけでなく、実際に赤ちゃんとふれあえたことは良かったと思います。
- ・子ども達は、場面が変われば校内での姿と違う対応ができるものだと思います。

- 学校支援本部やPTA、実施した施設による事前の準備や当時のサポートが良かったから実施できたと思いました。ありがたく思いました。
- 杉並区内では、こんなにたくさんの赤ちゃん（12名）が参加してふれあっているのは、松溪中だけだと思います。協力して下さる方がいないとできないことだと思います。この地域は、児童館等の施設の協力、PTA や学校支援本部の協力、ママ友等の情報での協力もあるので実施ができています。お父さんも参加し、話を聞かせるのも貴重です。今後も続けていきたいと考えています。

（2）避難訓練について

- 避難訓練は月1回程度実施していますが、授業時間の終わりごろや休み時間に実施する等、あまり授業時間を減らさないように工夫しています。また、生徒が避難する経路に狭い所があるので工夫しています。
- 避難訓練は、地域による震災救護所訓練と関連していると思います。
- 震度5強以上の地震が発生した場合は、避難が必要であり、震災救護所も設置するので、連携することは必要だといえます。
- 校内にまだ生徒がいる場合は、学校の職員は震災救護所への協力が十分できない実情があります。

【4】 学校の様子

- 10月13日に実施した合唱コンクールは、コロナ禍前とほぼ同じ内容で実施ができました。
- 11月には1年生の校外学習を都内で実施し、12月には2年生の校外学習を鎌倉で実施する予定です。

7 次回の予定

令和5年12月18日（月）16：00から多目的室にて